

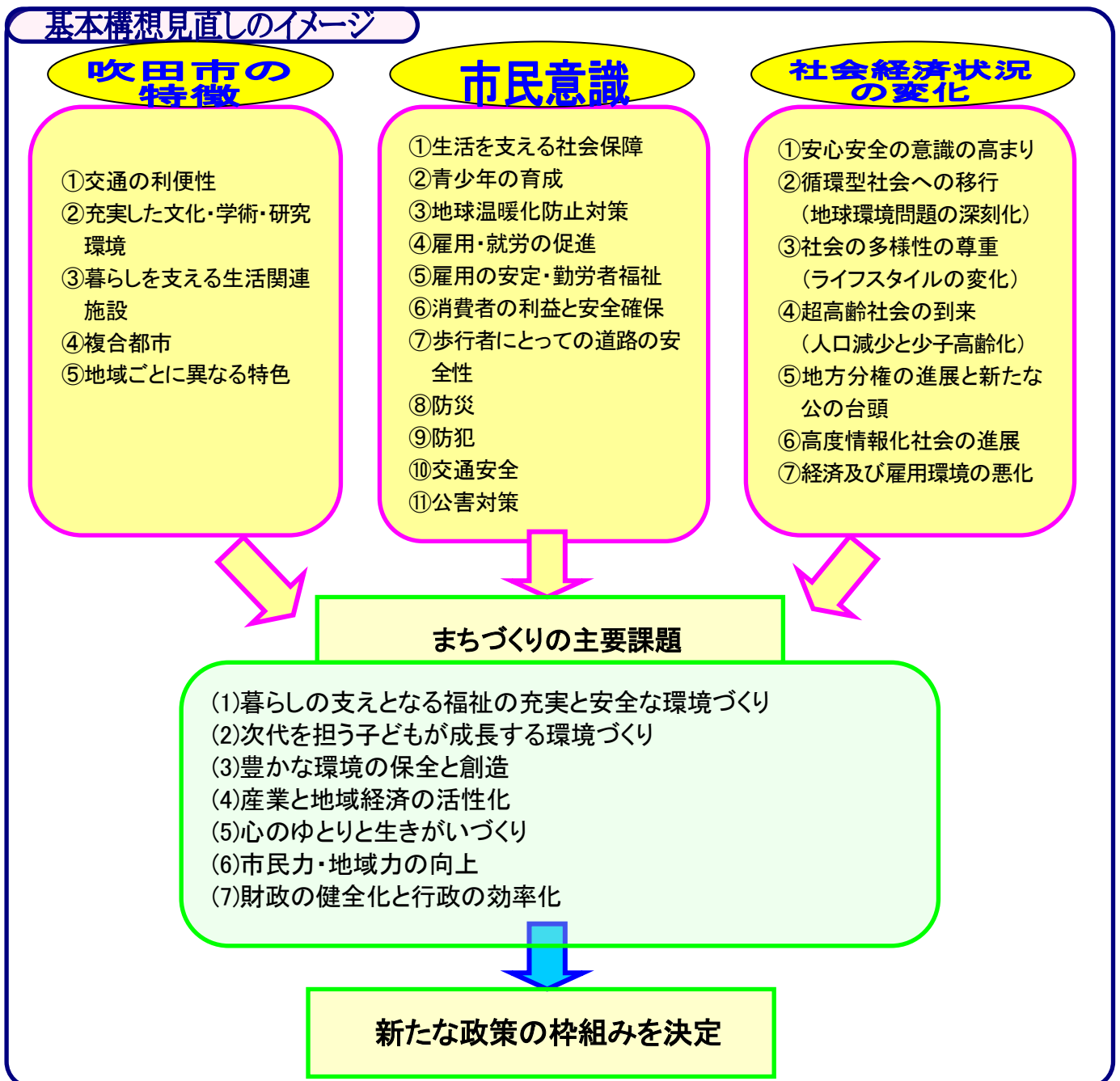
基本構想の見直しにあたって (吹田 2020 ロードマップ P21、P22 引用)

基本構想の見直しにあたっては、「吹田市の特徴」、市民意識調査などのアンケートによる「市民意識」、「社会経済状況の変化」をもとに、現在の吹田市が抱える【まちづくりの主要課題】を分析し、その主要課題に基づき、基本構想を形成する政策の枠組みの検討を行いました。

新たな基本構想では

- ・「市民自治」を一分野とするのではなく政策全体を推進する基盤の位置づけとする
- ・これまで福祉の分野となっていた「こども」に関する施策を「教育」と一体化させ、吹田市の次代を担う人づくりを目標とした「子育て・教育」の分野とする
- ・都市基盤整備の一環として位置づけていた「安心安全」に関する分野を分割し、新たな政策の柱と位置付ける
- ・「まちなぎわいの創造」をさらに推し進め、他市を含む広域な交流を通じてさらなる都市魅力を高める政策へと進化させる

といった政策の枠組みの見直しを行いました。



政策の枠組み

まちづくりの主要課題 (吹田 2020 ロードマップ P22 引用)

(1)暮らしの支えとなる福祉の充実と安全な環境づくり

子どもから高齢者まですべての市民がお互いの人権を尊重し、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすことができるように、身近な地域全体で支え合う環境を創り出す必要があります。また、事故や犯罪被害を未然に防ぐこと、災害時に迅速に対応することにより、市民の生命と財産を守ることが必要です。

(2)次代を担う子どもが成長する環境づくり

本市の人口減少や高齢化は全国に比べ遅れて進んでいますが、このまま人口が推移すれば、少子化は全国より早く進むことが予測されます。今後は、地域、行政が一体となって、子育てや教育環境を充実し、安心して子どもを生み育てられるまちとしていくことが必要です。

(3)豊かな環境の保全と創造

将来にわたって地域における豊かな環境を守り育てていくためには、環境に配慮したライフスタイルの確立をもとに、廃棄物の減量、省資源・省エネルギーの推進など地球温暖化防止のための様々な取組を進めるとともに、本市の特徴である良質な住環境を構成している緑地や公園、その他の自然環境を保全し、継承していくことが必要です。

(4)産業と地域経済の活性化

経済活動のグローバル化の波は地域の産業や経済に多大な影響を及ぼし、財政運営やまちづくりを左右します。市内企業の基盤強化や定着を支援し、安定した事業活動を営むための環境を整えることで市民の雇用確保と生活の安定を図ることにより、地域経済の循環を高めることが必要です。

(5)心のゆとりと生きがいづくり

成熟社会の到来は市民の価値観の多様性をもたらし、幸福度や生活満足度を求める人々が増加しています。また、物より心の豊かさを重視するという時代の流れの中で「いつでも」「どこでも」「だれでも」がそれぞれのライフスタイルに合わせて、いきいきと学び、一人ひとりの個性や感性を磨けるような環境をつくる必要があります。

(6)市民力・地域力の向上

本市は地域によって異なる特色を持っており、地域が抱える課題もその内容や程度は様々です。地域の特色を生かしながら、地域固有の課題を解決し、望ましい地域を創造するためには、そこで住み、働き、学ぶなど日々の生活から感じられることを反映することが重要です。

このため、地域のことは地域で決める主体的な地域運営の確立に向け、市民や事業者の意識の向上や NPO の育成など市民力・地域力を向上することが必要です。

(7)財政の健全化と行政の効率化

将来世代に過度の負担を残すことなく、社会経済や行政需要の変化に対応できる財政基盤の確立に向けて、選択と集中により、行政の効率化を徹底するとともに収支構造の健全化と財政構造の弾力化を念頭に置いた財政運営を進めることが必要です。

また、老朽化した公共施設をはじめとした社会資本の更新を計画的に進めていくことが必要です。

ルート

ルート : 一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち
(人権・文化)

ルート : 誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる
(福祉・保健・医療) 福祉のまち

ルート : ともにつながり未来を拓く人づくりを進めるまち
(子育て・教育)

ルート : 健全で豊かな環境を守り引き継ぐまち
(環境)

ルート : 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち
(都市形成)

ルート : 支えあいと備えで安全に暮らせるまち
(安心安全)

ルート : 人が集い、企業を育む、都市魅力あふれるまち
(地域経済)

ベース

ベース : 市民が活躍できるまちの仕組みづくりを進めます
(市民自治)

ベース : 持続可能なまちづくりのための行政経営を確立します
(行政経営)

基本方針（ルート）とまちのイメージ / 基本姿勢（ベース）と取組

（吹田 2020 ロードマップ P32-34 引用）

基本方針 （ルート）	まちのイメージ
<p>まち さまざまな文化を認め合う平和なまち 一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和な</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 1 平和の尊さが実感できています - 2 一人ひとりの命や個性を大切にしている人権感覚が育まれています - 3 DV 被害や女性に対する暴力がない男女共同参画社会になっています - 4 多彩な文化が身近に感じられるまちになっています - 5 国や地域の人との交流が育まれています
<p>誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち 誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 1 高齢者が健やかに安心安全に暮らしています - 2 障がい者が地域で安心して生活し、様々な分野の活動に参加しています - 3 住み慣れた地域でともに支え合いながら暮らしています - 4 生涯にわたって心身ともに健康に暮らしています
<p>進めるまち ともにつながり未来を拓く人づくりを ともにつながり未来を拓く人づくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 1 安心して子育てができています - 2 配慮が必要な子どもや親が必要な支援を受けることができます - 3 学校・家庭・地域のつながりの中で、子どもたちが自らの学びを高め、成長しています - 4 子どもや青少年が安心して安全に、出会いや交流を通じて成長しています - 5 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」生涯を通じて、主体的に学んでいます - 6 すべての市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる、生涯スポーツ社会になっています
<p>健全で豊かな環境を守り引き継ぐまち 健全で豊かな環境を守り引き継ぐまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 1 限りあるエネルギーを大切に使う意識が定着しています - 2 資源を大切にしている社会システムが形成されています - 3 健康で快適な暮らしを支える環境が保たれています - 4 環境教育・環境学習の機会が充実しています

基本方針 (ルート)	まちのイメージ
誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	- 1 暮らしや都市活動を支える都市基盤整備が進んでいます
	- 2 魅力あふれる美しいまちなみと良好な住環境が形成されています
	- 3 住みたいまちに選ばれる安心で良質な住まいづくりが進んでいます
	- 4 みどりが保全・創出・活用され、市民に親しまれています
	- 5 自動車に過度に依存しない交通環境整備が進んでいます
	- 6 誰もが安全で快適な道路環境整備が進んでいます
	- 7 安定した安心安全の水道が利用できています
	- 8 下水道施設が計画的に整備され安心安全快適な暮らしができています
支えあいと 備えて安全に暮 らせるまち	- 1 防災への備えをはじめ危機管理体制が確立しています
	- 2 犯罪が少なく安全で安心して過ごしています
	- 3 備えと予防ができており火事(や事故)が減っています
人が集い、企 業を育む、都市魅 力あふれるまち	- 1 元気な企業が集積しています
	- 2 いきいきと働きがいをもって就労できる環境が整っています
	- 3 安心して消費生活を送れる環境が整っています
基本姿勢 (ベース)	取 組
市民が活躍で きるまちの仕組 みを進めます	地域の特性が活かされた市民主体のまちづくりの仕組みを構築します
	市民公益活動を支える環境づくりや多様な主体による協働のまちづくりの仕組みを構築します
	多様な市民の意向が反映される市政運営の仕組みを充実させます
持続可能なまちづく りのための行政経営を確 立します	安定した行財政運営を進めます
	環境の変化にも柔軟に即応し効果的な行政経営を担う人材を育成します
	良好な施設機能の安定的な提供とインフラの維持保全を計画的に行います
	利便性の向上が図られたサービスを提供します